

一般質問

2名の議員から一般質問がありました。質問・答弁を抜粋・要約して掲載しました。詳しい質問内容については、議会ホームページをご覧ください。



小鹿 昭義 議員

働く意欲のある高齢者を活用しては現制度を有効に活用していただく

【小鹿昭義議員】

町内で、65歳以上で軽微な作業でも働きたいと願う方々の声を聞く。一方で軽微な作業を有料でも依頼したい高齢者もいる。

マッチングのための調査と、高齢者の働く意欲と健康増進の相乗効果も期待できるシルバー人材センターに類似した組織について町長の考え方を伺う。

また、独居高齢者の中にはカラオケを楽しみたいと思っている人もいる。社会教育の一環として、送迎バスや会場の提供を計画・検討できないか教育長に伺う。

【小野寺則之教育長】

以前、高齢者学級事業の中でカラオケ教室を実施していたが、平成30年度以降実施していない。要望が多いようであれば、来年度以降、関係者と協議し検討したい。



平沼 昌平 議員

国勢調査結果を受けたネット利活用は環境整備を進め福祉サービス等に活用

【平沼昌平議員】

今年の国勢調査期間が終了し、当町の回答率が渡島西部四町で3番目と報道された。インターネットによるオンライン回答率では最も低い状態にあった。

この結果を受けて、当町ではどの程度問題意識を持っているのか伺う。地区によっては高齢者の割合が多く調査員の回収がメインとなっているところもあると聞く。当町ではどのような形で町民周知したのか。

光ケーブルを利用し町内のインターネット普及率を100%にしようとしている現状から今後の利活用の考え方を伺う。

【鳴海清春町長】

当町の高齢化率は約50%と高く、高齢者世帯におけるインターネット環境整備が進んでいないことから回答率の低さに影響しているものと推測する。

町民周知については、調査員が調査書類を配布する際、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、インターネット回答の奨励と郵送による回答も可能と協力をお願いした。

今後のインターネットの利活用については、町の過疎化、高齢化が進行する中で、高齢者の見守り等の福祉サービスへの活用や窓口サービスの迅速化、効率化につながるものを目指してまいりたいと考えている。